



70年目の節目からステップアップ ～東中の未来へつなぐ体育大会に～

9月21日(木) 体育大会を行いました。台風の影響のため順延し平日開催となってしまいました。にもかかわらず、多数の地域の方や保護者の方にご参観いただく中、熱気に満ちた体育大会を実施することができました。昨年つくった70周年記念曲のファンファーレ「未来への幕明け」から始まり、マーチ「勝ち鬨をあげよ」によって気合のこもった行進を行いました。その表情と凛々しい態度から、みなぎる意欲と東中生としてのプライドを感じ、とても頼もしく思いました。

今年の体育大会のスローガンは「我竜天晴 ～飛翔する五色の魂 大空へ～」。このスローガンには、「自分たちが竜となって青い大空へ飛んでいく」という意味が込められていました。「大空へ飛んでいく」というのは、全力を出し切り、自分の才能を爆発させるという宣言です。その思いに十分応え得る東中生の取り組みで、競技も応援も生徒一人一人がキラキラ輝いていました。応援合戦では、5つの団がそれぞれ工夫し、個性あふれる内容で甲乙つけがたいものでした。

結果としては、競技の部では蕾銃(黄)団が、応援の部では豹燐(橙)団が優勝しましたが、勝った団も負けた団もとても素晴らしい内容でした。

応援合戦 女子団長の口上 ～団員へのメッセージ～

蕾銃

俺たち蕾銃は天目山の頂を蕾銃の花で満開にするため、仲間を信じ歩んできた。

いよいよ決戦の時だ。

蕾銃のみんな、これまでついてきてくれてありがとう。

伝説に残る蕾銃の輝きを魅せつける

蕾銃団長 梶川梨理香



豹燐

俺たち豹燐は、太陽の光を浴び、鮮やかなオレンジに染まる。

そして、豹のような力強さで、勝利という名の獲物にくらいつく。

豹燐のみんな、ついに俺たちの力を見せつけるときが来た。

最後の最後まで、全力で闘おう。俺たち豹燐、絶対王者！

豹燐団長 小島萌々果

麗舞

我ら麗舞は、美しい羽を持ち、

この天目山の空へと舞い上がる。

麗舞のみんな、

仲間・先生・家族・すべての人に感謝をし、

最後の応援を心の底から楽しもう！

麗舞団長 岡江未莉

醒嵐

俺たち醒嵐は、今日まで全力で走り続けてきた。

今、この瞬間、優勝をつかみ取り、笑顔の花を咲かすのは、俺たち醒嵐だ。

醒嵐のみんな、今日までついてきてくれてありがとう。

醒嵐のみんなが大好きだ。醒嵐の嵐を巻き起こす。

醒嵐団長 中川結衣

爛瑰

俺たち爛瑰は、豪華絢爛をモットーに強く熱く、そして豪華に練習を積み重ねてきた。

天目山を制するため、どんな努力も欠かさない仲間を信じ、己を超える。

爛瑰のみんな、今までついてきてくれてありがとう。最後まで精一杯ともに戦おう。そして、この大地を爛瑰一色に染めてやる。爛瑰革命はもう始まっている。今から俺たちの Show Time だ。

爛瑰団長 祖父江莉子



実行委員長のことは

実行委員長 3-5 鈴川 葵美

実行委員長として前に立って活動してみ、改めて東中生はすごいなと感じることができました。全員が足と腕を大きく上げて行進し、開会式では人の話を真剣に聞いていました。全員が気持ちを一つにすることができるのがすごいと思いました。

私は、団の中では太鼓の担当で団を引っ張ることができました。醒嵐は思うような結果が残せなかったけど、今までの中央練習ではどの団よりも走っていたと思っています。この気持ちを忘れずに、次の行事でも、団で協力して取り組めるといいなと思いました。

これからは合唱コンなどの行事だけでなく、一日一日を大切に、3分前着席や声かけなど、当たり前前を当たり前に行えるようにしていきたいです。そうすることが、クラス全員の団結につながっていくと思います。これからも東中生みんなと頑張りたいたいと思います。

競技の部 優勝 団長のことは

薔鮫 団長 3-1 麓 凱生

「優勝よりもいいものがある」僕が1年生の時に担任の先生がよく言っていました。

結果は、競技の部優勝、応援の部準優勝。

僕たちが目指すW優勝にはあと一步届きませんでした。しかし、僕自身は2つ手に入れたものがあります。

1つ目は感謝です。僕たち団長だけでは、体育大会を成功させることなんて不可能でした。最後までついてきてくれた薔鮫のみんな、支えてくれた先生方、そしてともに競い合った醒嵐、爛魂、豹燐、麗舞、全ての人たちに感謝しています。

もう1つは、東中生みな同じだと思います。最高の思い出を得ることができたことです。めちゃくちゃ喜んだこと、悔しかったこと、声が枯れるぐらい叫んだこと。そして壇が一つになって燃えることができたこと。些細なこと、大きなことその一つ一つが僕の最高の思い出です。

最高の思い出をありがとう。